

意見提出手続の実施について

(パブリックコメント)

総務委員会では、所管事務調査として、本市及び地域社会を取り巻く諸問題を統合的かつ横断的に解決するため、持続可能な開発目標 (SDGs) の理念をまちづくりに生かすことを目的とした条例 (案) を作成いたしました。

つきましては、現在市民等からの意見を募集するため、下記のとおり意見提出手続を実施中ですのでお知らせいたします。

- 案件名** 持続可能な開発目標 (SDGs) を桐生市のまちづくりに生かす条例 (案)
 - 募集期間** 平成31年1月11日 (金) から2月12日 (火) まで
 - 担当課** 議事課 TEL.46-1111 (内線 814)
- ※条例 (案) は、議事課、広報課、新里・黒保根支所、市ホームページ (下記 URL 参照) にあります。



SDGsのロゴ

子ども議会

— 桐生市子ども会 —

平成30年10月27日 (土) に本会議場で第18回子ども議会が開催されました。

市内の各小学校から選ばれた17人の児童が「『わたしたちが夢見る未来の桐生』に対する自分の夢、願い、希望すること」を提案し、市政について様々な意見や提案を発表しました。



桐生市子ども議会

平成30年10月27日

桐生市子ども宣言
 自然豊かで歴史があり、伝統文化のあるまち桐生、優しさで温かさのあるまち桐生、私たちは、そんな桐生が大好きです。そして、桐生市の子どもであることを誇りに思っています。
 私たちは、未来に羽ばたき、勇気を持って前進し、私たちのまち桐生をもっともっと明るく、そして住みよいまちにするために力強く行動することを約束します。

市民の皆様におかれましては、謹んで初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より議会活動に関しまして、深いご理解と温かなご支援を頂いておりますことに、心より御礼を申し上げます。

さて、第4回定例会では、教育民生委員会から子どもの未来を育む事業に要する経費の財源を積み立てるため、「桐生市子ども基金条例案」が提出され議決された次第であります。

また、過日、「第13回マニフェスト大賞」の授賞式が東京都で行われ、「特別賞 (原田謙介選)」に桐生市議会が選ばれました。これまで桐生市議会で実施してまいりました若い世代とのまちづくり討論会等が主権者教育の枠を広げてくれたとの評価をいただきました。

今後も議員22名と事務局一丸となって、「いちばん身近な頼れる議会」をモットーに掲げ、地方創生時代に相応しい議会として、桐生市の持続的発展のため、専心努力を傾注して参る所存です。今後ともご支援をよろしくお願い致します。



森山 享大 議長 福島 賢一 副議長

ごあいさつ

平成31年、年頭にあたりご挨拶申し上げます。市民の皆様におかれましては御健勝の元に新年をお迎えのこととご推察申し上げます。

さて、平成30年を顧みますと、日本各地で自然災害が発生し甚大な被害をもたらす、被災されました方々の早期の復興を願うところでもあります。

一方、政府が掲げた地方創生、成長戦略は、高度成長期に匹敵する経済活動をもたらす好景気を持続していると中央経済界では評価しているようですが、地方都市では、その評価とは異なっているのが実情であります。

桐生市議会におきましては、市民と共に歩む議会、市民に開かれた議会をモットーに議会改革を推進するなかで、早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度ランキングにおいて全国1,788議会の中で第6位と非常に高い評価を頂きました。

迎えました2019年におきましても更なる改革を推進し、市民の皆様から信頼される議会として取り組んでまいります。

結びと致しまして、本年は元号も変わることが予定されており、各分野で環境の変化も生じるものと思われませんが、市民の皆様にとりまして輝かしい年であることを祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>



LINE



フェイスブック



ツイッター